



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日新製鋼株式会社
コード番号 5413 URL <http://www.nisshin-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三喜 俊典
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 榊 信行

TEL 03-3216-5566

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	137,225	△9.2	1,013	△55.8	1,820	40.8	1,243	—
27年3月期第1四半期	151,058	15.2	2,295	△57.6	1,293	△78.7	33	△99.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,953百万円 (268.1%) 27年3月期第1四半期 802百万円 (△92.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	11.34	—
27年3月期第1四半期	0.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	762,211	270,898	34.6
27年3月期	770,591	271,997	34.1

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 263,559百万円 27年3月期 262,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	15.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

28年3月期の期末配当につきましては、現時点で未定です。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	280,000	△9.9	5,000	△44.4	4,500	△45.9	2,500	△52.5	22.81
通期	577,000	△6.6	14,500	△31.1	12,000	△39.1	8,000	△52.8	72.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	109,843,923 株	27年3月期	109,843,923 株
28年3月期1Q	221,583 株	27年3月期	219,728 株
28年3月期1Q	109,623,094 株	27年3月期1Q	99,927,820 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)のわが国経済は、経済政策効果や好調な企業収益を背景に設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。

鉄鋼業界におきましては、国内では、高いレベルにある国内鋼材在庫の圧縮を目的に生産調整が実施されており、海外においては、海外鉄鋼市場の需給悪化と市況低迷が長期化する状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは実需見合いの生産を徹底するとともに、当社独自の高い付加価値を持つコア製品(ZAM、特殊鋼、ステンレス、カラー製品)中心の拡販を推進し、グループ一体となった収益改善に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高 1,372 億円(前年同期比 138 億円減収)、営業利益 10 億円(同 12 億円減益)、経常利益 18 億円(同 5 億円増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益 12 億円(同 12 億円増益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少(△37 億円)、受取手形及び売掛金の減少(△109 億円)、投資有価証券の増加(52 億円)等があり、前連結会計年度末(平成27年3月末)より 83 億円減少し、7,622 億円となりました。

負債は、有利子負債の減少(△28 億円)等があり、前連結会計年度末より 72 億円減少し、4,913 億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益(12 億円)、その他の包括利益累計額の増加(18 億円)、剰余金の配当(△43 億円)等があり、前連結会計年度末より 10 億円減少し、2,708 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、消費増税後以降、低迷していた個人消費にも所得や雇用環境を中心に改善がみられるなど、引き続き内需を中心に回復基調の継続が期待されます。一方、海外では、欧州財政問題や中国経済の減速など、今後の先行きに不透明感を残す展開となっており、世界経済に与える影響が懸念されます。

鉄鋼業界におきましては、国内では、建設分野に加え、遅れていた製造業向けについても、自動車の在庫調整が徐々に進展するなど、需要回復が期待されます。一方、高水準が続く中国の鋼材輸出は、世界各地で通商問題を引き起こしており、今後の海外鉄鋼市場への影響を注視していく必要があります。

このような環境のもと、当社グループは、24号中期連結経営計画の折返し地点を迎える中、前半2年間にあたる企業基盤強化期間の成果を着実に獲得してまいります。メインテーマである統合シナジー効果の実現、合理化・総コスト削減活動の完遂、戦略投資の刈り取り、コア製品戦略による品種構成の改善など、各施策を確実に実行していくとともに、グループ一体となった構造改革を推進し、次の飛躍に向けた「稼ぐ」力の強化にも一層積極的に取り組んでまいります。

以上の経営環境や施策の取り組みを勘案し、平成28年3月期第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の連結業績予想は、売上高 2,800 億円、営業利益 50 億円、経常利益 45 億円、親会社株主に帰属する四半期純利益 25 億円、平成28年3月期通期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の連結業績予想は、売上高 5,770 億円、営業利益 145 億円、経常利益 120 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 80 億円と予想しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上する方法に変更いたしました。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は491百万円、税金等調整前四半期純利益は1,947百万円それぞれ減少しております。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が1,947百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,300	22,529
受取手形及び売掛金	79,032	68,061
有価証券	5,000	2,000
たな卸資産	144,212	145,451
その他	26,528	28,569
貸倒引当金	△639	△631
流動資産合計	280,433	265,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	74,763	73,769
機械装置及び運搬具(純額)	103,115	100,838
土地	71,828	71,827
その他(純額)	17,983	21,907
有形固定資産合計	267,690	268,343
無形固定資産	10,081	10,152
投資その他の資産		
投資有価証券	137,766	143,038
退職給付に係る資産	43,247	43,428
その他	31,986	31,863
貸倒引当金	△614	△596
投資その他の資産合計	212,385	217,734
固定資産合計	490,157	496,230
資産合計	770,591	762,211
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,576	86,791
短期借入金	78,672	85,231
コマーシャル・ペーパー	-	3,000
引当金	232	234
その他	43,676	39,388
流動負債合計	211,158	214,644
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	161,161	148,747
特別修繕引当金	13,911	14,004
その他の引当金	1,506	1,349
退職給付に係る負債	42,552	42,936
その他	18,303	19,629
固定負債合計	287,435	276,667
負債合計	498,594	491,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	91,099	76,345
利益剰余金	74,160	87,695
自己株式	△541	△544
株主資本合計	194,719	193,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,356	26,940
繰延ヘッジ損益	191	51
土地再評価差額金	388	389
為替換算調整勘定	17,741	16,467
退職給付に係る調整累計額	26,521	26,213
その他の包括利益累計額合計	68,199	70,062
非支配株主持分	9,078	7,339
純資産合計	271,997	270,898
負債純資産合計	770,591	762,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	151,058	137,225
売上原価	136,412	123,939
売上総利益	14,645	13,286
販売費及び一般管理費	12,350	12,272
営業利益	2,295	1,013
営業外収益		
受取利息	52	43
受取配当金	757	1,500
持分法による投資利益	337	198
為替差益	-	519
その他	338	542
営業外収益合計	1,486	2,804
営業外費用		
支払利息	1,341	1,058
出向者労務費差額負担	529	555
為替差損	210	-
その他	406	383
営業外費用合計	2,488	1,997
経常利益	1,293	1,820
特別損失		
固定資産除売却損	121	17
火災損失	61	-
特別損失合計	183	17
税金等調整前四半期純利益	1,110	1,803
法人税等	945	472
四半期純利益	164	1,330
非支配株主に帰属する四半期純利益	130	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	33	1,243

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	164	1,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,131	3,646
繰延ヘッジ損益	△339	△189
為替換算調整勘定	△613	△1,228
退職給付に係る調整額	△994	△279
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,546	△325
その他の包括利益合計	638	1,622
四半期包括利益	802	2,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	767	3,105
非支配株主に係る四半期包括利益	34	△152

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成27年5月15日開催の取締役会において、会社法第452条及び第459条の規定に基づき、その他資本剰余金をその他利益剰余金に振り替えることを決議いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が123億10百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

I. 平成27年度第1四半期決算

1. 損益状況等

(億円)

	No	H27年度 4-6月 (実績) a	H26年度 4-6月 (実績) b	差異 a-b
売上高	1	1,372	1,510	▲ 138
営業利益	2	10	22	▲ 12
経常利益	普通鋼・特殊鋼	38	22	16
	ステンレス	▲ 20	▲ 10	▲ 10
	計	18	12	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	6	12	0	12

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 10	▲ 5	▲ 5
	ステンレス	8	▲ 15	5	▲ 20
	計	9	▲ 25	0	▲ 25

経常利益 〈実カベース〉	普通鋼・特殊鋼	10	48	27	21
	ステンレス	11	▲ 5	▲ 15	10
	計	12	43	12	31

2. 諸元

	No	H27年度 4-6月 (実績) a	H26年度 4-6月 (実績) b	差異 a-b	
粗鋼生産量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	1	79	82	▲ 3
	ステンレス	2	15	20	▲ 5
	計	3	94	102	▲ 8
販売数量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	4	74	80	▲ 6
	ステンレス	5	12	15	▲ 3
	計	6	86	95	▲ 9
鋼材平均単価 (千円/ト)	7	124	124	0	
輸出比率 (金額ベース, %)	8	17	17	0	
輸出為替レート (円/ドル)	9	121	102	19	

3. 経常利益差異内訳

①H26年度4-6月(実績) 対 H27年度4-6月(実績)

(億円)

(内ステンレス)

H26年度4-6月(実績)		12	変動要因	▲ 10
変動要因	販売関連	▲ 25	数量構成差▲25、価格差▲20、輸出為替差 20	10
	購買関連	45	鉄鉱石 70、石炭 10、油類 15、ニッケル原料 20、輸入為替差▲75	▲ 5
	コスト改善等	11	合理化等	5
	子会社等	0		0
	在庫評価	▲ 25	0→▲25(内ステンレス 5→▲15)	▲ 20
計	6		▲ 10	
H27年度4-6月(実績)		18		▲ 20

4. 貸借対照表 (H27年6月末)

(億円)

		対H27/3末				対H27/3末		
現預金	225	▲	37	有利子負債	2,869	▲	28	
売上債権	680	▲	109	その他の負債	2,043	▲	44	
たな卸資産	1,454		12	負債合計	4,913	▲	72	
その他流動資産	299	▲	9	資本金・資本剰余金	1,063	▲	147	
有形・無形固定資産	2,784		7	利益剰余金	876		135	
投資等	2,177		53	自己株式	▲	5	▲	0
				その他の包括利益				
				累計額	700		18	
				非支配株主持分	73	▲	17	
資産合計	7,622	▲	83	純資産合計	2,708	▲	10	
				負債・純資産合計	7,622	▲	83	

II. 平成27年度業績予想

1. 損益状況等

(億円)

	No	H27年度				H26年度 (実績) e	差異	
		上期		下期 (予想) c	(予想) d		① b-a	② d-e
		4-6月(実績) a	7-9月(予想) b					
売上高	1	1,372	1,428	2,970	5,770	6,175	56	▲ 405
営業利益	2	10	40	95	145	210	30	▲ 65
経常利益	3	38	47	100	185	161	9	▲ 24
普通鋼・特殊鋼	3							
ステンレス	4	▲ 20	▲ 20	▲ 25	▲ 65	35	0	▲ 100
計	5	18	27	75	120	196	9	▲ 76
親会社株主に帰属する当期純利益	6	12	13	55	80	169	1	▲ 89
在庫評価	7	▲ 10	▲ 10	▲ 10	▲ 30	▲ 25	0	▲ 5
普通鋼・特殊鋼	7							
ステンレス	8	▲ 15	▲ 10	▲ 10	▲ 35	25	5	▲ 60
計	9	▲ 25	▲ 20	▲ 20	▲ 65	0	5	▲ 65
経常利益	10	48	57	110	215	186	9	▲ 29
普通鋼・特殊鋼	10							
<実力ベース> ステンレス	11	▲ 5	▲ 10	▲ 15	▲ 30	10	▲ 5	▲ 40
計	12	43	47	95	185	196	4	▲ 11

2. 諸元

	No	H27年度				H26年度 (実績) e	差異	
		上期		下期 (予想) c	(予想) d		① b-a	② d-e
		4-6月(実績) a	7-9月(予想) b					
粗鋼生産量 (万トン)	1	79	81	160	320	327	2	▲ 7
普通鋼・特殊鋼	1							
ステンレス	2	15	20	33	68	71	5	▲ 3
計	3	94	101	193	388	398	7	▲ 10
販売数量 (万トン)	4	74	74	158	306	321	0	▲ 15
普通鋼・特殊鋼	4							
ステンレス	5	12	14	29	55	60	2	▲ 5
計	6	86	88	187	361	381	2	▲ 20
鋼材平均単価 (千円/トン)	7	124	122	122	122	127	▲ 2	▲ 5
輸出比率 (金額ベース, %)	8	17	16	17	17	17	▲ 1	0
輸出為替レート (円/ドル)	9	121	120	120	120	109	▲ 1	11

3. 経常利益差異内訳

①H27年度4-6月(実績) 対 H27年度7-9月(予想)

(億円)

(内ステンレス)

H27年度4-6月(実績)		18	変動要因	▲ 20
変	販売関連	▲ 35	数量構成差 5、価格差▲40	▲ 15
動	購買関連	35	鉄鉱石 15、石炭 10、ニッケル原料 10	10
要	コスト改善等	4	合理化等	0
	子会社等	0		0
	在庫評価	5	▲25→▲20(内ステンレス▲15→▲10)	5
因	計	9		0
H27年度7-9月(予想)		27		▲ 20

②H26年度通期（実績） 対 H27年度通期（予想）

(億円)

(内ステンレス)

H26年度通期(実績)	196	変動要因	35
変動要因			
販売関連	▲ 225	数量構成差▲60、価格差▲225、輸出為替差 60	▲ 65
購買関連	240	鉄鉱石 215、石炭 40、ニッケル原料 110、油類 75、輸入為替差▲225	55
コスト改善等	4	合理化等	0
子会社等	▲ 30	海外子会社等	▲ 30
在庫評価	▲ 65	0→▲65(内ステンレス 25→▲35)	▲ 60
計	▲ 76		▲ 100
H27年度通期(予想)	120		▲ 65

4. 株主還元

第 2 四半期末配当については、連結業績に応じた安定的な配当を基本に、
足下の業績および今年度の見通しを踏まえ、1株当たり15.0円を実施。
なお、通期末の配当については現時点で未定

〔参考〕有利子負債・ネットD/Eレシオ

	H26/3末	H27/3末	H27/6末
手許預金(億円)	408	263	225
有利子負債(億円)	3,235	2,898	2,869
ネットD/Eレシオ	1.36	1.00	1.00
〃 (格付ベース) ※	1.11	0.86	0.86

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券/ハイブリッドローンについて、
元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ
(H26/3末は500億円の50%、H27/3末およびH27/6末は400億円の50%を、それぞれ資本に算入)

以上